

第5回
(仮称)干潟地域小学校
学校再編代表者会議
議事録

日 時：令和6年5月27日（月）
場 所：ひかた市民センター 1階ホール

第5回 (仮称)干潟地域小学校 学校再編代表者会議

日 時 令和6年5月27日 (月) 午後6時30分

場 所 ひかた市民センター 1階ホール

議事日程

- 1 開 会
- 2 前回議事について
- 3 議 題
 - (1) 議案第4号 統合校の名称について (諮問)
- 4 その他
- 5 閉 会

出席委員 (20名)

保護者代表

中和小PTA	金親 大	中和小PTA	木内 貴之
中和小PTA	越川 聡子	萬歳小PTA	伊藤 政徳
萬歳小PTA	石井 幸恵	萬歳小PTA	細谷 素子
古城小PTA	林 禎和	古城小PTA	實川 博之

地域住民代表

中6区区長	石田 健二	萬歳3区区長	椎名 清治
西2・9区区長	米本 一章		

学校教育関係者

中和小校長	水須 三樹	萬歳小校長	小長谷 晶
古城小校長	宮内 百枝		

福祉関係者・青少年育成関係者

民生委員	大湊 一文	青少年相談員	秋葉 教子
------	-------	--------	-------

その他教育委員会が必要と認める者

干潟町中央 保育園保護者	高木奈保子	中和小学校 評 議 員	玉井 正博
-----------------	-------	----------------	-------

まんざい保育所
保 護 者

花香 真菜

古城保育所
古 保 護 者

小角 早苗

欠席委員（４名）

古城小PTA

大木いずみ

青少年相談員

小久保和宏

まんざい保育所
保 護 者

石井 真也

古城小学校
運営協議会委員

金杉 光信

事務局職員出席者

教 育 長

向後 依明

教育総務課長

向後 稔

学校教育指導室
室 長

臼倉 浩

教育総務課
教 育 総 務 課 長

金谷 健二

教育総務課
教 育 総 務 課 長

八馬 裕樹

施設課
教 育 総 務 課 長

石毛 厚史

学校再編室
学 校 再 編 室 幹

八木 幸生

校再編室
教 育 総 務 課 長

林 義樹

学校再編室
学 校 再 編 室 査

椎名 倫史

傍聴者 １名

1 開 会

○事務局　それでは、これより（仮称）干潟地域小学校学校再編代表者会議を開催させていただきます。

また、本日の審議会は「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により公開するものとなっております。

傍聴人の皆様をお願いいたします。本日の会議は受付でお渡ししました傍聴要領を守っていただきますようお願いいたします。

なお、会議の進行を妨げることがあった場合には、退場していただくこともありますので、ご注意くださいようお願いいたします。また、傍聴要領に記載のとおり、会場での写真撮影、録画、録音等を行わないようご注意ください。携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りになるかマナーモードに設定していただくようお願いいたします。

2 前回議事について

○事務局　それでは、次第の2前回議事について、担当よりご説明させていただきます。

○事務局　（資料説明）

○事務局　ただいまの説明に対して、ご質問などがありますでしょうか。

（発言する人なし）

○事務局　それではよろしいでしょうか。

続きまして、3議事に移ります。議事に関しては会長に進行をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

3 議 題

（1）議案第4号 統合校の名称について（諮問）

○会長　それでは、議事に入らせていただきたいと思います。

前回の会議に引き続き、議案第4号について審議を進めます。最初に事務局より説明をお願いします。

○事務局　（資料説明）

○会長　事務局の説明は終わりました。

初めに資料3の応募内容について決めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

まず募集要項、分かりやすいように順番に決めていきたいというふうに思います。一番上

の応募内容については、地域に根付く新たな学校として分かりやすく親しみやすい校名ということで、これについて問題はないでしょうか。

続いて応募期間についてです。先ほど事務局からも説明がございました。周知の期間も考えて6月10日からと、あと子どもたちの夏休み前ということで7月19日ということで設定したとのことですが、これについてはどうでしょうか。

特に問題ないでしょうか。それではその後ですね。応募資格、これについてはいろいろあると思います。応募資格について、事務局案では干潟地域にお住まいの方、また中和小、萬歳小、古城小、干潟中の児童生徒、その保護者ということで、これについて何かご意見ある方は挙手の上発言をお願いいたします。

○委員 前回の会議では、大体このぐらいの地域の方についていう、雰囲気はそんな風だったと思うんですけども、私もいろいろ考えまして、もう少し広くてもいいのかなという気がしまして。干潟地域の学校なんで干潟地域の人が決めればいいというのは正しい意見だとは思いますが。ただ結局公募なので、最終的に選ぶのは私たちで、数が多いから選んでわけでもないとなると、選択肢をもう少し増やせるように、もうちょっと多くの人の意見を募集してもいいのかなと。市内全域まで広げてもいいのかなと思ひまして。干潟地域だけだと、私の感覚なんですけども、案があまり出てこないんじゃないかなという不安がちょっとありまして。案外使える名称が限られているような感覚が自分の中にはありまして。その中だと10案って意外と難しいんじゃないかなという部分がちょっとありまして、意外とまっさらなところから出てきてくれる意見っていうのも、少しはありなのかなと思ひ発言させていただきました。

○会長 そのほか、ご意見いかがでしょうか。

○委員 こちらには干潟地域にお住まいの方と児童生徒その保護者ということで書かれているんですけども、可能でしたら、干潟地域に今現在勤務をしている各小学校と中学校の教職員の意見も中に入れていただけるとありがたいかなというふうに思ひます。やはりふるさと学習をさせていただいて、いろいろな形で地域の良さを知ってる職員もいるかと思ひますので、ご検討いただけるとありがたいなと思ひます。

○会長 ただいま学区内の小学校、中学校の教職員というようなご意見もございました。線引きをどこまでするかというところなんですけども、市内全域から干潟地域の教職員、どこで切るかという話だと思ひなんですけども、ほかの方ご意見どうでしょうか。これについては皆さんで決めていければというふうに思ひなんですけども、どうでしょうか。

なかなか挙手がしづらいというのであれば、皆さん順番にご意見お伺いしたいなと思うんですけど、どうでしょうか。

○委員 前回の会議の時に、私も干潟地域に住んでいる人がいいんじゃないかなって思ったんですけど、今こうやって文書で表して、いざ募集しますって言った時に、この文面を見た瞬間ちょっと応募が少ないかなってというのが私の印象で、やっぱりもっと広げてもいいんじゃないかなと思います。校名を決めることで興味を持ってもらうっていうのはいいことだと思うので、旭市内とか、もう少し幅を広げてもいいんじゃないかなと思います。

○会長 ほかの方はいかがでしょうか。なかなか意見が出ないとちょっと決めづらいところもありますので、いかがでしょうか。

○委員 私も旭市全域の方に広報とかで知ってもらって、興味のある方はウェブとかQRコードで応募していただいたほうが、いい案も出てくるかなと思うので、そっちのほうがいいかなと思います。あと、うちの実家の母の話なんですけど、干潟に生まれて、旭のほうにお嫁に行ってしまったって、やっぱり母も統合についてちょっと興味があったので、干潟生まれでお嫁に行ってしまった方とか、旭市内だけど、ちょっと離れてしまった方とかも、また興味を持ってもらえるかなって思うので、旭全域で興味のある方は応募をしていただいたほうがいいかなって思います。

○会長 何名かの方は干潟地域に限定しないでというご意見がございましたが、ほかの方はどうでしょうか。

○委員 私も旭市内全体のほうがいいと思うんですけど、今後他の地域もこの協議会が設立されると聞いてますけども、そういった時に、飯岡地区とか海上地区なんかで、地区でみんな範囲が変わるのか、一律で旭市全域でやったほうがいいのか。地区ごとに応募範囲をまたこの代表者会議で決めてやるのか。市全体が最大値だと思うんですけど。市全体が私はいいいと思います。

○委員 今後、この地域以外の学校も再編の準備に入って、そういったことが増えた時に、仮にこの子どもたちに募集をかけるとなると、旭市内20校小学校ありますので、それを毎回20校に依頼をかけて、繰り返しこの作業を行っていくのが事務局としては大丈夫なのかなっていうのが、ご負担が大きいんじゃないのかなというような思いがあります。前回の会議の時にも申し上げたんですが、旭市全体で考えていくことはもちろん有効な方法だと思うんですが、ただやはり私は干潟地域の方々が干潟地域の学校に責任を持ってというような思いも、ちょっと地域的には感じている部分もあるので、今事務局が提案してくださっている応募の

資格というのが適当ではないかなと思う部分と、あと先生方には是非ご意見いただければと思うので、教職員の方々に入っていただくというのがいいのかなというふうに思いました。

○委員 事務局が出してくれた案で基本的にいいと思うんです。あとは小中にお勤めの教職員の方も入ってもらうっていうのがいいかなと思うんです。前回提示された近隣市の事例っていうのがあって、公募のところを見ると大体が学区在住者ですね。ですので、先ほど案が少ないんじゃないかっていう意見もありましたが、何とかなるんじゃないかなと、案が出てくるんじゃないかと思うんです。もちろんやってみないと分からないとこもありますけどね。近隣市の例があるから、そんなに風呂敷広げないで、期間も6月10日から7月19日までという短い期間なので、干潟地区在住の方プラス教職員の皆さんでいけるんじゃないかなっていうふうに思います。

○委員 子どもたちが、自分たちがこれから通う小学校の名前を考えるっていうことはできることかなと思うんですけど、例えば萬歳小の子が全然違う地域の小学校の名前を考えてくださいって言われた時に、全然縁もゆかりもない地域の学校の名前を考えていけるのかなっていうことを思うと、やっぱりこの今書いてある地域プラス教職員の方でいいんじゃないのかなというふうに思います。

○会長 様々な意見をいただきました。もう残り少ないので、一人1案言っていただければ話が早いと思います。

○委員 私も全域というのには賛成なんですけども、その他市外に結婚していらっしゃる方もいれば、市外にお嫁さんとして出た方も結構いると思うんですね。その場合、実家のほうから興味がある人はご連絡していただいて、応募してもらったほうがいいのではないかなとちょっと考えたので、発言させていただきました。

○委員 自分もやっぱり地域にお住まいの方とその教職員の方がいいと思います。なぜかと言いますと、やっぱり歴史的な由来ということを考えると、地元に住んだ人のほうが分かるかなと思いますので、よその方が考えてもただの思いつきの考え方しかないのかなっていうこともありますので、やっぱり地域住民のご意見を取り入れたほうがよろしいかと思います。

○委員 自分も地域の方に募集だけいいのかなと思います。あまり広げると事務局の方も大変なのかなと思います。

○委員 今の感じ聞いてると、私は市内全域に回覧板などを使って出す。それで、この2枚目の小学生向けのプリントですね、これは干潟地域にしか配らない。それでいいのかなって。熱がある人じゃないとどうせ答えないんで。別に回覧板からQRコードをやって、やりたい

人はやるだけなんで。事務局もどうせ一覧で出てくるだろうから、そんな負担にならないと思うんですけど。

○委員　私は応募資格は今書いてある感じで、ちょっと広く旭市在住の方とか、そういうくらいでいいのかなって思っています。それで例えばですけど、この応募のポスターとか、そういうものの作成のほうがちよっと気になっていて、やっぱり目を見てインパクトがあるものとか、そういうものとかやっていったらいいんじゃないかなって思いました。

○委員　私も干潟地域の方々と教職員の方でいいのかなと思います。あと干潟地区の企業とか、お勤めの方も、代表の人に渡してみてもいいのかなと思いますけども。

○委員　ちょっと自分の中でもあまりよくまとまってなくて、なかなか発言できなかったんですけど、ここに来るまではもう干潟地域で、この小学校中学校限定っていうところで、もうそれ一択なんだろうなっていう考えだったんですけど、案がいっぱい出てきたほうがいろんな選択肢が広がるよなっていう意見が一つと、あと今回ここが旭市内で一番先陣を切って統合するってことになるので、ゆくゆくは北部地域で中学校だったり、また小学校だったりってことを考えるのであれば、旭市全体で考えていくっていう意味も含めて、旭市でやってみてもいいのかなとは思いました。実際応募資格を旭市にしたとしても、やっぱり当事者の方が一番自分事として考えてくるので、案が出てくるのも自然的に干潟地域が多いのかなと思っはいるので、旭市に広げてみてもいいのかなとは思っています。

○会長　ほかの方いかがでしょうか。

ちよっとすみません、私の意見もちよっと伝えたいなと思うんですけど、私は干潟地域だけでいいかなというふうには考えています。一応資料を頂いて少し考えたんですけども、この前どなたかが赤ちゃんの名前の付け方の話もしてましたけども、干潟地域はこれ1年かけてずっと議論してきたという経緯もありますし、実際他の地域、統合はこれからだと思います。やっぱり名前を付けるのは家族で付けるものかなってふうには考えてます。この後選定方法もまた議論すると思うんですけども、じゃ他の地域から出た数票の案で決まることもあり得るのかなってなると、案はもしかしたら少ないかもしれないし、そこはやってみないと分かんないですけども、自分たちの学校の名前は自分たちで決めるのがいいのかなっていうのは私個人としては、一つ意見としてあります。

そのほか、まだ発言されてない方がでしょうか。

○委員　私も正直言えば迷うところもありました。また、うちのPTAの方が市全部でっていうのも、うんうんと聞いていて、この後のちょっと人間関係良くなるか悪くなるかあれな

んですが。私としては、やっぱりこの子どもたちに考えさせたい、このふるさとの干潟の未来、何年も続く小学校ですよ。なので、子どもたちには本当によく考えてもらいたいなと思っています。それから教職員も関わらせていただきたい。やっぱり子どもたちと干潟に住む人達と、みんなで責任を持って考えて結論を出したいっていうところで、この原案プラス教職員というところで、私としては今はそう考えています。

○委員 私も前回自分で話したように、干潟町のことなので、干潟地域の方々が考えたほうがいいんじゃないかなと思います。あと小中学校、保育園の先生も入れたいと思います。あと、他の小学校もこれから統合があるので、そこはどこまで広げるのかわからないですけど、やっぱり干潟町のことは干潟町で考えたいなと思っております。

○委員 この応募資格の内容でいいかなと思います。あと教職員と。ちなみになんですけど、この現在の学校名っていうのはどういうふうに決まったのか、ちょっと分かる範囲で教えていただければ、公募ではなく市のほうで決めたんですかね。

○事務局 応募用紙の後ろに一応経緯は書かせていただきました。ちょっと推測にはなりますが、概ね村の名前とか、そういったものが学校の名前になってきてることから考えますと、皆さんが決めたというよりかは、行政のほうで決めたのかなと考えられます。

○委員 私も基本的には事務局の案でよろしいかと思います。ただ先ほど話に出てましたが、例えば旧干潟町出身で現在はこの学区に在住していない方については、やはりある程度思いがある方もいらっしゃると思いますので、そうしたところの意見を吸い上げるような、ちょっと難しいかもしれませんが、そうした一文があってもいいかなというふうに感じております。

○会長 ありがとうございます。これで全員の方から一応発言をいただいたということで、ちょっと決め方が難しいんですけども、まず教職員の方という意見があって、それについて特に反対意見はなかったと思うんですが、教職員の方は入れるということでよろしいですか。

それでは、まずはこの応募資格の中に小中学校に勤務されている教職員の方を入れるということにしたいと思うんですけど、その次、旭市内全域からという意見と、あと案の通り干潟地域からという意見で2通り上がってきたかなと。それ以上っていう意見はなかったかと思うので、これはもう多数決で決めるしかないのかなというふうに思いますけども、多数決でいかがでしょうか。

それでは、応募資格につきましては、旭市内全域か干潟地域かでお聞きしたいと思います。まず旭市内全域からということで決を取りたいと思いますので、賛成の方挙手をお願いいた

します。旭市内全域から募集するということで賛成の方、挙手をお願いします。

(挙手 8名)

○会長 手を下げていただいて結構です。

それでは干潟地域から募集をすることに賛成の方、挙手をお願いします。

(挙手 11名)

○会長 それでは、干潟地域という方が11票、市内全域からというのが8票ということで、多数決の通り干潟地域から募集をするということで。細かく言うと事務局案にプラス教職員の方でよろしいでしょうか。それでは応募資格については事務局案の干潟地域にお住まいの方、そして中和小、萬歳小、古城小の児童生徒とその保護者、ここにプラスしてその学校に勤められている教職員の方々ということで決定をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

続いて、次に行きたいと思います。応募方法については大体これで網羅しているのかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

QRコード、メール、ホームページ、そしてFAX、応募用紙からということで、子どもたちにも配布をするということです。これについては干潟地域からということであれば、ほぼ網羅できるかなと思いますけども、いかがでしょうか。

(発言する人なし)

○会長 特にご意見ないということで、応募方法についてはこの事務局案の通りにさせていただきます。

続いて、校名案の応募基準について。

○委員 今日欠席の方に関してはこの会議の意見、決議に同意するってということでよろしいんでしょうか。それとも確認を取って意見を聞くという感じになるんでしょうか。その人数を考えると、そこでひっくり返るってということもあり得ますので、どうなってるんでしょうか。

○事務局 こちらの会議は条例で制定されている会議になりまして、過半数の出席でこの会議が成立しまして、その内の過半数の決で決定ということになります。なので欠席されてる委員は、この会議の決が決定事項ってということで、うちの方から後日お知らせするという形を取らせていただきたいと思います。

○会長 よろしいでしょうか。

では、校名案の応募基準について決めていきたいと思います。これについては、前回も少

し議論がありましたけど、現在の校名の使用についてですね。今の小学校名を使用するのか、あとは応募点数も含めてですけども、応募点数は先ほど事務局からもありましたけども、他市も大体一人1点ということで話がありました。ここでは現在の校名を使うのか使わないのか、ちょっとここに焦点を当てて議論をしたいと思いますけども。ちょっと時間がもう7時半になってますけども、皆さん意見どうでしょうか。また端からとかっていうのもあれでしょうけども、どなたか意見ある方お願いいたします。

○委員 最初に聞いておきたいんですけど、干潟地域で大体対象になる方の人数ってどのくらいなのかなっていうところがありまして。正直最近の干潟地域の人数がちょっと分からないもので、ちょっと教えていただきたいんですけども。

○事務局 世帯数で言うと2千3百世帯くらいで、人口で言いますと大体7千弱くらいだったと思います。

○会長 ほかにいかがでしょうか。

意見がなければ、時間の都合もありますので、皆さん1案言っていて、あとは決を取る形ですかね。

じゃ、ちょっと一人1案意見をお願いいたします。

○委員 基本的にはこれでいいと思うんですけども、ただ現在の学校名のところで、古城小だけは使えるようにしてもいいんじゃないかなっていうところがあります。今ある学校名をそのまま使えるっていう選択肢は一つの案としてもいいんじゃないのかなっていうところがありまして。このまま使うか、これに何かアレンジするかっていう部分でもいいと思うんですけども。ただ私はこれだけは使えたほうがいいんじゃないのかなっていう私の案です。

○委員 私は全部使えなくていいと思います。

○委員 私も基本的には今までの3校の名前は使用できなくていいと思います。新しいスタートを切るので、全く違うイメージというか、また一新してスタートしたらいいんじゃないかなと思います。

○委員 基本的にこの案で賛成なんですけど、応募は一人につき1点までとしますって最後書いてあるんですけど、大人はすぐ応募できると思うんですけど、小さいお子さんとかだと、やっぱり家族で相談してっていうのがあると思うんですね。だから今2千件ぐらいあるっていうことだったんで、例えば一家につき1点までとか、そのくらいの感覚でもいいのかなって思ったのが正直な感想です。

○委員 学校名に関しては3つとも使わないです。

○委員 私は現在の校名と同じ名前は使用できるようにして欲しいと思いました。あと、私は前回1家庭で1案ということをお話ししたんですけれども、応募は一人につき一点まででもいいのかなと思いました。そのほうが選択肢もいっぱいあると思います。

○委員 基本的にはこの原案でいいと思うんですけど。あまり積極的な意見ではないんですけど、古城小の児童達は古城小っていう名前を付けたがるんじゃないかなと思ったんです。先生方がご指導いただけるからそんなことはないと思うんですけど。だからせっかく3つの学校が統合するわけだから、新しく再スタートする感じでもいいんじゃないですかね。

○委員 私も使用できないでいいと思います。

○委員 応募基準の通りで良いと思うんですが、旭市内の他の小学校と同じ校名は使用できませんという部分は、こちらは現在干潟小学校があるんですが、その干潟と類似してる「ひかた」も使えないという解釈になりますか。前回の会議の時に「干潟」「ひかた」その辺のことも協議事項として出ていたもので、そこも改めて確認していただいたほうが、この応募に関しては「ひかた」の応募も可にするのか。その後に例えば、私たちが協議する時にはそういう選定を行うのか、というあたりも今回決めておいたほうが、応募の基準としてはクリアになって良いのかなと思います。

○委員 原案のままでいいと思います。やっぱり子どもたちが考えるってなった時に、今の学校名っていうのは使えないから、新しいものを考えていくんだよっていう説明をしたほうが分かりやすいのかなというふうに感じます。

○委員 公募っていうことで、新しく決めていきたいということなので、今までの小学校っていうことでなく、新しく名前を決めてもらいたいなと自分は思います。

○委員 応募の基準についてはこの案のままでよろしいかと思います。

それで一点、この応募基準とは直接関係ないんですけれども、漢字、ひらがな、カタカナを使用してくださいということで、この統合に実際に関わる児童っていうのは今の小学校3年生以下となります。そう考えると小学校3年生以下の児童が考えていくって時に、それが意図的にひらがなを使っているのか、漢字が書けなくてひらがなを使ってるのかっていうところがはっきりしないと、ちょっと困るかなっていうふうに感じています。ですので、小学校低学年の児童については、この小学校配布用のどこかに、保護者とそういったところも確認をして応募をしてくださいというような一文があったほうがいいかなと。先ほどの「ひかた」というのをひらがなで使うっていう選択肢もありなのかなというふうに個人的には感じております。

あとこれ表現の問題なんですけれども、小学校配布用で漢字、ひらがな、カタカナのどれかを使ってくださいって、どれか一つを固定してるような、漢字とひらがなが混じっていてもいいと思いますので、これは表現だけの問題なんですけれども、もう少し表現をちょっと変えた方がよろしいのかなっていうふうに感じました。

○委員 私は市の案でいいと思います。

○委員 私も現在の案でいいと思います。現在の中和小、萬歳小、古城小の3つの名前に関しては、新しいスタートを切るっていうことを考えて使用できませんって形でいいかと思います。あと懸念事項の「ひがた」と「ひかた」のところははっきりと使えるか使えないかってところは明記したほうがいいかなと思いました。

○委員 私も校名案の応募基準これでいいと思います。新しいスタートを切るのに、今ある学校名は使用できないほうがいいのかなと思います。

○委員 このままで大丈夫だと思います。あと先ほど言われたように「ひかた」については、はっきりしたほうがいいと思います。

○委員 私もこの応募基準案の通りでよろしいかと思います。併せましてやはり旧干潟町にとってはこの干潟という名前にかなり愛着があるかなと思いますので、同様にひらがなを使うことは可能かどうかってあたりは、確認いただけるとありがたいかなというふうに思います。

○委員 自分もこの案には賛成です。一つちょっとおかしいなと思うのが、カタカナを付けての小学校っていうのは、今まで聞いたことがないかなと思いますので、このカタカナだけは自分はやめたほうがいいかなと思います。

○委員 この応募基準の案で自分は賛成です。今までの歴史も見る限り、基本的には同じ学校名は使用していないので、それぞれ募集をかけて名前を付けたほうがいいかなと思います。

○会長 皆さん意見をお伺いしました。

一つ事務局に確認ですけども、同じ校名は使用できませんので、漢字の干潟は使えないと思うんですけど、例えば干潟〇〇とかは有りなのか、無しなのか。ちょっと説明お願い致します。

○事務局 漢字の干潟小学校は完全一致してしまうので、これは駄目ということにしたいと思っています。干潟〇〇小学校とか、そういったものは一つのアイデアとしてオッケーにさせていただいた上で、この会議で最終的な判断を仰ぐというような形にさせていただければと思っています。あと、ひらがなの「ひかた」はオッケーという形で事務局としては

判断しております。あと、カタカナもなかなか珍しくて事例はないかと思いますが、いろんなアイデアを募集するという観点から、カタカナも入れさせてもらっています。

それと、2枚目の小学校配布用の中で先ほど漢字、ひらがな、カタカナのどれかというところは、大人に配布するようには入ってませんので、同じ表現で「どれか」を消したいと思います。あと、低学年のお子さんはなかなか漢字を覚えていなくて、一年生なんか特にですけども、配布する時におうちの方とよく相談してくださいねっていうようなお願いをしてお配りしようかと思ったんですが、こちらはもう先に記載して分かるようにしたいと思います。

○会長 事務局から説明がありました。大まかには皆さんこの案でいいという意見だと思いますが、ここも一応採決をしたいと思います。この事務局案でいいという方、挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○会長 全員賛成ですね。はい、ありがとうございます。

校名案の応募基準については、この事務局案ということにしたいと思うんですけども、細かな文言の修正等、表記の仕方については事務局で再度検討して載せていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

続いて、備考欄についてです。ご意見等ありますか。

○委員 正式に決定した校名に関する一切の権利は旭市教育委員会に帰属しますという一文はどういうことなのか、説明をお願いします。

○事務局 例えばですが、校名を考えた人がこの名前私が考えたんだからお金をくださいとか、そういった権利を主張されないように書いてあるところです。他の自治体見ても大体この一文は書かれていますので、後々トラブルがないように釘を指すような形で書いているものになります。

○会長 ほかにいかがでしょうか。

○委員 採用された校名案を出してくれた方に、何か品物とか、そういうのは全然考えないんですかね。大したもんじゃなくていいんですよ。生徒さんだったらノートでもいいんですけど、そういうのがあってもいいのかなとちょっと思ったんですが、それについていかがでしょう。

○事務局 今の時点では景品等は考えていなかったんですけども、まだ時間がありますので、一旦預からせていただいて事務局のほうで少し検討させていただければと思います。

○会長 そのほかよろしいでしょうか。

では、備考についてもこの通りとしたいと思いますのでよろしくお願いします。

その他この募集要項に対してご意見等ございますか。

ないようでしたら、資料3の内容につきまして、事務局から確認の意味でお願いしてもよろしいでしょうか。

○事務局　まず応募内容と応募期間は変わらずになります。応募資格につきましてはこの表現プラス教職員の方を入れたいと思います。続いて応募方法、校名案の応募基準、備考についてはこの通りということで。申し合わせとして、干潟〇〇小学校とかは応募時点では受け入れて、最終的に皆さんで判断していただくことにしたいと思いますので、よろしくお願いします。

○会長　続いて資料4の学校名の選定方法について決めたいと思います。選定方法について、質問、ご意見のある方は発言お願いいたします。

○委員　ちょっと考えただけなんですが、公募の案内とかをいろんなところに貼ってもらったりとか、例えばお店とか、ぱっと見て、あっ、ていうこともあるのかなって思っております。期間が1ヶ月ですから、少し早めについていう点でも大事なんじゃないかなって思ってます。

○事務局　ご提案ありがとうございます。なるべく広く周知するためにいろいろ考えまして、回覧板が一番皆さんに知り渡る方法かなと思っています。ちょっとお店に配るのが、たくさん店舗がありますので、なかなか難しいというところで、今回はこのチラシをメインに周知させていただければと思います。

○委員　周知方法なんですけど、地域住民は全戸配布でいいと思うんですけど、この未就学児、保育所を通じて配布っていうのは干潟地域の保育所だけに限られるんですかね。例えばこひつじ幼稚園に通っていらっしゃるお子さんも結構いると思うんですね。

○事務局　アンケートに関しては干潟にある三つの保育所と保育園、他にこひつじ幼稚園に通われてる方にもお配りはしております。ですので、今回もこひつじ幼稚園のほうにもチラシの配布を依頼しようと思います。

○会長　そのほかご意見ありますでしょうか。

特にないようであれば、ちょっと時間も押してますので、これについては採決でいいでしょうか。校名の選定方法について事務局より説明がございましたが、これについて賛成の方、挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○会長　全員賛成ということで、それは選定方法につきましては事務局案の通りとしたいと

思いますのでよろしくお願いします。

それでは、資料3と4についてはこれで決定しました。なお、細かな一部修正があるかと思えますけども、修正した内容につきましては会長の私が最終確認をしたいと思えますけど、よろしいでしょうか。

それではご異議がないと判断をさせていただき、募集内容等につきましては私の方で確認をさせていただきます。

その他、委員の皆様から何かありましたらお願いします。

○委員　ちょっと校長先生方にお伺いします。これ学校の1年生、2年生、3年生って結構現実味がないじゃないですか。名前を決めるって。学校の授業か何かで干潟町の歴史についてとか、そういうのをやったりとか。中学生とかもそう思うんですよ。はっきり言って歴史なんか全く分かってない。結局多分大人の意見が出てきて、それをみんな選ぶことにはなると思うんですけど、そういうのをやったりとかっていうのは考えてらっしゃるのかなって、質問です。

○委員　資料を配布する際に学習を深めていきます。また、昨年度も歴史的な部分は継続して学習していると聞いています。

○会長　それにつきましては、この会議からも各学校の先生方には歴史等をぜひ教えていただいて配布をお願いしたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

ほかにいかがでしょうか。

特になければ、本日予定されている議事はこれで全て終了いたしました。議事進行のご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

4 その他

○事務局　それでは長時間にわたりまして、皆さん真剣なご意見をたくさんいただきましてありがとうございます。最後に次第の4、その他となります。事務局より事務連絡をさせていただきます。

○事務局　（事務連絡）

5 閉会

○事務局　それでは長時間の会議となりまして大変お疲れ様でした。以上で閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

【閉会：午後 8 時 0 0 分】